

## 【授業実践様式】

# 児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

## 1 基本情報

◇各教科等 中学部作業学習 紙漉き

◇学部・学年 中学部 第1・2・3学年

◇単元名 「紙製品の製作」

◇単元の目標

- ・働くことの喜びを知り、進んで仕事に参加することができる。
- ・物を作ることの喜びを味わい、仕事への自信をもつことができる。
- ・分担された仕事を最後までやり遂げることができる。
- ・作業にふさわしい身だしなみや言葉遣い、マナー等を理解する。
- ・他の人を意識し、協力して作業する態度を身につける。

◇付けたい力

- ・体験や経験を通して、新しい知識や技能を獲得する力
- ・やってみたいこと・知りたいことにチャレンジする力
- ・新しいことに興味・関心をもち、取り組む力

◇本時の目標

- ・自分の分担した作業を最後までやり遂げることができる。
- ・他の人を意識し、協力して作業することができる。

◇生徒の実態

・3学年の縦割りの集団である。挨拶や振り返りは上級生がリーダーシップをとり下級生の手本となっている。学部内で課題別グループを作って活動しているので、1年生も先輩の様子を見て学び、落ち着いて学習に取り組むようになってきている。全員が決まったパターンの学習が得意であり、活動の見通しが立てば、集中して学習に取り組むことができる。

## 2 期待する児童生徒の姿

人と円滑にコミュニケーションを取ったり、人と協力して活動することを身につけさせたい。

## 3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

どの生徒も、自分のやりたい作業を選択してボードに貼り準備物もほぼ支持なしで準備することができた。作業中も自分の目標枚数や回数を持って作業に取り組むことができた。毎日の繰り返し作業の中で、技術を習得する過程で、言葉がけを減らし、自分ならの工夫が見られた時には、その場で、しっかりほめることを心掛けてきたことにより、主体性が育ってきたと考えられる。

ミキサーと計量を2人ペアの作業としたことで、計量の生徒がミキサーの仕事の進行に合わせて作業速度を調整し協力して活動することができていた。作業内容の精選とグルーピングが、せいかなって表れたと考えられる。